

カナダ規格協会との協力覚書締結について

2020年4月28日
一般財団法人日本規格協会



日本規格協会理事長 揖斐敏夫 カナダ規格協会標準部門代表の Mary Cianchetti 氏

1. 本件の概要

一般財団法人日本規格協会（JSA グループ）とカナダ最大の標準化機関（SDO）であるカナダ規格協会（CSA グループ）は、2020年4月10日付けで協力覚書（MoU）を締結しました。

JSA グループと CSA グループは、この MoU に基づき、今後、国際標準化に関して、幅広い分野で連携を進めていきます。

2. 背景

経済社会のグローバル化、急速なイノベーションの進展、デジタル化などを背景として、標準化に関しても様々なステークホルダーとのネットワークが必要になってきています。

また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、世界の経済社会環境が大きく変化していくと予想されます。

そのような環境変化を背景として生じる新たな標準化ニーズに対して、国際的に連携して取り組んでいくことの必要性も顕在化してきています。

JSA グループと、CSA グループは、有力な SDO 同士の連携の強化が今後一層重要になるという認識で一致し、標準化に関連する情報共有の強化、ISO/IEC などの国際規格開発などでの具体的な協力を推進していくため、協力協定を締結することになったものです。

なお、JSA グループは、既に、英国規格協会 (BSI)、ドイツ規格協会 (DIN) / ドイツ電気電子情報技術委員会 (DKE)、フランス規格協会 (AFNOR)、中国標準化協会 (CAS) と協力協定を締結しています。

3. 意義

JSA グループは、CSA グループとの MoU 締結により、北米地域における標準化活動の連携が強化され、民間規格から ISO/IEC などの国際規格に至るまで幅広い分野での協力が可能になると考えています。

また、欧州、アジア地域、北米地域の主要 SDO との協力協定の締結により、グローバルな規格開発活動の連携が強化され、ソリューションの幅が広がり、様々なお客様の標準化ニーズに適したサービスを提供できるものと期待しています。

更に、他の有力な海外の SDO との協力関係の構築にも積極的に取り組んでいるところです。

4. 協力協定の概要

- a) 互いの活動及び機能の更なる相互理解の達成を視野に入れたコミュニケーションの推進及び強化
- b) 各々の標準化活動に関する知識の共有及び最良実施事例の交換
- c) 互いに関心のある問題での協力の促進
- d) 互いの職員の知見を育て続けるために、合同会議の実施及び情報の交換
- e) 標準化に関する会議、ワークショップ、セミナー及び専門分野シンポジウムの共同開催及び相互後援の可能性の検討
- f) 標準化領域の法律及び規制法に関する情報交換
- g) 互いに関心のある規格開発のプログラム及びプロジェクトの可能性に関する情報交換

5. CSA グループの概要

カナダ規格協会(CSA グループ)は、100年の歴史をもつ、カナダで最大の標準化機関(SDO)。CSA グループは、①非営利団体として規格開発、出版及び普及・教育を行っている CSA と、②その子会社である試験・検査・認証を行っている営利組織から成る。